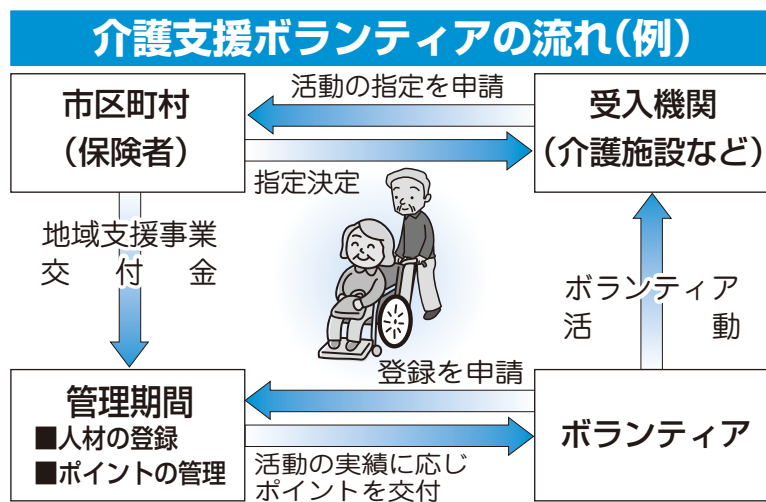




浦崎 みゆき 議員

認知症の対策を急げ

答 認知症対策を検討していく



問 認知症患者は全国で460万人いると言われている。また、認知症800万人時代が来ると予想されている。介護予防の推進のため介護支援ボランティアポイント制度を導入できないか。

副町長 ポイント制度は平成28年4月導入を目指している。

問 認知症サポーターを増やす考えはないか。

民生部長 認知症サポーター養成講座を35人が受講した。引き続き開催し、養成に努めたい。

問 福祉事業者と町民のマッチングを図るシステムを作れないか。

副町長 65歳以上の4人に1人が認知症状況があると言われるため認知症対策を講じた。

教育支援員(ヘルパー)の充実と強化を

問 特別支援教育支援員(ヘルパー) 配置の現状と課題を問う。

教育長 幼小中合わせて39人のヘルパーを配置している。研修会等で個々に応じた支援をしている。支援員の確保が課題である。

問 保護者、ヘルパー、担任のコミュニケーションが取れる体制は整っているか。

教育長 学校単位で担任、コーディネーター、ヘルパー等で月1回程度の情報共有等の会議を行っている。保護者と学級担任は必要に応じて面談もしている。

町民と共に記念式典を

問 平成27年は町制施行35周年を迎える。

これまで町民とともに歩んできた道のりを振り返り、また展望を新たにすの意味も込めた町民参加型の町民音楽祭を行う考えはないか。

町長 来年は終戦70周年を迎える年でもある。町としても平和と兼ね合わせながら町制35周年を含めた事業を検討したい。